

宗内寺院紹介 43

足曳山 あしびきざん両子寺 ふたごじ

①



③



②



⑤



④



⑥

両子寺は大分県北東部国東半島中心部にある両子山の中腹に位置する。養老二年（AD七二八）仁聞菩薩の開基。六郷満山の中では中山本寺、すなわち山岳修行の根本道場に当たり、特に江戸期より六郷満山の総持院として全山を統括してきた。しかしながら時代の趨勢、明治初頭の神仏分離、第二次世界大戦等の法難、自然災害等の遭遇により次第に往時の姿は薄れかけてきたが、歴代住職の懸命な精進と檀信徒の護持によりわずかながらも、面目を保ちつつ今日に至っている。

現在の主な堂宇は奥の院本殿（本尊 千手観音、両所大権現の神仏習合）、大講堂（本尊 阿弥陀三尊）、護摩堂（本尊 不動明王）。信仰として、昔より子授け申し子祈願、安産、厄除けなど。

境内は瀬戸内海の国立公園、大分県史跡に編入され、走水観音という湧水地もある。全国森林浴の森百選に指定され、四季を通じ殊に、新緑・秋の紅葉は遠近を問わず、大勢の参拝客で賑わう。また、平成二十三年より法嗣豪淳を中心にはじめた自然森再生活動の「両子の森プロジェクト」は環境を通していのちの学びができるとして特に好評を得ている。

①奥の院本殿 ②本尊不動明王 ③両子の森プロジェクト
④両子寺秋の紅葉 ⑤護摩堂 ⑥仁王門

足曳山 両子寺

住所／〒873-0356 大分県国東市安岐町両子1548
電話番号／0978-65-0253